



日本慢性期医療協会

第2回身体的拘束最小化大作戦

～根性論だけでは進まない具体的なテクニックを学ぼう～

令和6年度診療報酬改定に伴い、いよいよ身体的拘束の厳格化が始まりました。身体的拘束の原因の第一位は認知症があることですが、2024年1月には認知症基本法が施行されました。当たり前なのですが、認知症がある方も医療を受ける権利があります。認知症があるというだけで、当たり前を受ける医療を縛られなければ受けることができないのでしょうか？

自分なら、自分の大切な人ならばそれを易々と受け入れることができるのでしょうか？

少しでも身体的拘束を最小化できるツールがあるならば導入したいと思いませんか？

日本慢性期医療協会には、25年にわたって治療が必要な患者さんでも身体的拘束を行わずに医療を提供してきたノウハウがあります。今こそ慢性期医療から急性期医療にバトンを渡せる時代が来しました。

具体的なテクニックを学べる本研修会への皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催概要

【日 程】 令和7年2月6日（木）13：00～17：00

【会 場】 東京研修センター（会場集合型）
東京都新宿区富久町11-5 シヤトレ市ヶ谷2階 日本慢性期医療協会併設

【定 員】 80名（先着順）※定員に達し次第受付を締め切りますのでご注意ください
※現場で拘束ゼロに取り組まれる看護・介護など、患者のケアを担当されている皆様のご参加をお待ちしております

【参加費】 日本慢性期医療協会 会員：7,000円（＋消費税700円）／名
会員外：10,000円（＋消費税1,000円）／名

プログラム（予定）

13：00～13：05	開催にあたって
13：05～13：50	講演1：当会における身体拘束ゼロの理念 講師 橋本康子（日本慢性期医療協会会長・橋本病院 理事長）
13：55～14：45	講演2：富家病院における身体拘束抑制ゼロ 講師 富家隆樹（日本慢性期医療協会事務局長・富家病院 理事長）
14：50～15：35	講演3：根性論だけでは進まない身体拘束ゼロの技術 講師 田中志子（日本慢性期医療協会常任理事・内田病院 理事長）
15：45～17：00	演習：具体的な技術集
17：00	閉講